

■令和4年度 住吉区運営方針（案）の主な変更点

配付資料⑦

区政会議委員の皆さまからいただいたご意見等を踏まえ、住吉区運営方針（素案）に次の点を加筆修正し、住吉区運営方針（案）とします。

項目	掲載場所	素案	案	変更理由
めざす成果及び戦略3-2 【学校教育等への支援】	様式2 P.27	〔戦略（中期的な取組の方向性）〕 ・学校、地域と連携し、こどもの学ぶ力、生きる力を育む事業を実施するとともに福祉的課題等をかかえることもやその家庭への支援を行う。	〔戦略（中期的な取組の方向性）〕 ・学校、地域と連携し、こどもの学ぶ力、生きる力を育む事業を実施するとともに、 <u>ヤングケアラー、こどもの貧困、不登校などの</u> 福祉的課題等をかかえることもやその家庭への支援を行う。	ヤングケアラーについての委員のご意見により、「福祉的課題等」にヤングケアラー問題を含めていましたが、その内容をより分かりやすく具体的に表現するため下線部を追記しました。
具体的取組3-2-3 【児童・生徒等の支援】	様式2 P.30	—	〔当年度の取組内容〕 <u>●住吉区地域・子ども食堂連絡会と、会議への参加や福祉的課題等をかかえることも及びその家庭への支援などを通じて連携協力（通年）</u>	子ども食堂についての委員のご意見により、地域・子ども食堂は地域における子どもたちの居場所として重要な役割を果たしていただいていることから、区としての取組を下線部のとおり追記しました。
具体的取組6-3-1 【窓口等におけるサービスの向上】	様式2 P.57	〔プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）〕 ・来庁者アンケートにおいて、 <u>待ち時間や職員の対応が</u> 適切であると感じる来庁者の割合：80%以上 【撤退・再構築基準】 ・来庁者アンケートにおいて、 <u>待ち時間や職員の対応が</u> 適切であると感じる来庁者の割合が60%未満の場合は、事業を再構築する。	〔プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）〕 ・来庁者アンケートにおいて、 <u>待ち時間が</u> 適切であると感じる来庁者の割合：80%以上 ・来庁者アンケートにおいて、 <u>職員の対応が</u> 適切であると感じる来庁者の割合：80%以上 【撤退・再構築基準】 ・来庁者アンケートにおいて、 <u>待ち時間が</u> 適切であると感じる来庁者の割合が60%未満の場合は、事業を再構築する。 ・来庁者アンケートにおいて、 <u>職員の対応が</u> 適切であると感じる来庁者の割合が60%未満の場合は、事業を再構築する。	プロセス指標について、待ち時間と職員の対応を一緒にして「適切であると感じる来庁者の割合」を求めるより、それぞれ分けて割合を求めた方が、よりサービス向上につながるのと委員のご意見のとおり、内容ごとに結果を求めて効果検証する必要があると判断し、下線部のとおり分割しました。